

九州南部支部からの便り

第24回九州南部支部総会は令和5年7月29日(土)、熊本県熊本市のザ・ニューホテル熊本で開催された。前回開催の令和元年以来コロナ禍のために自粛を続けた4年ぶりの開催で、懐かしい再会に多くの会員から喜びの声があがった。当日の総会出席者は16名であった。

一・総会

総会では、令和4年より空席だった支部長に、林田素行氏(昭和44年卒)の就任が承認決議された。その後、林田新支部長による挨拶、役員や会計など支部運営に関する事項の確認ならびに報告がおこなわれた。引き続き、京都大学経済学部同窓会本部理事長で経



2023年7月29日 於；ザ・ニューホテル熊本



文学部同窓生である熊本大学松浦教授のご講演

済学部長の依田高典教授から学部や研究科、大学の近況などについて、また同窓会本部常務理事で経済学研究科副研究科長の田中彰教授から同窓会の近況などについてそれぞれご報告をいただいた。

二・講話

熊本大学人文社会科学部教授の松浦雄介氏(平成8年文学部卒)よりフランスの文化財返還問題についてと題して、約50分間ご講話をいただいた。文化財は誰のものか、背景としての植民地主義、多様な入手方法など、具体的な事例や課題を交え、わかりやすくお話しいただいた。返還をめぐる議論や国際規範の紹介後、フランスの政策転換の背景、文化ナショナリズムそして新たな国際関係のあり方にまで話は及んだ。出席者も皆、熱心に聞き入り、講話終了後には多くの質疑応答がなされた。

三・懇親会

懇親会は、岡野徹氏(昭和38年卒)の乾杯により開宴。出席者それぞれの

近況報告、学生時代の思い出話、今後の展望など、酒盃を交わしながら歓談に花を咲かせた。岡野徹氏(昭和38年卒)、東本和行氏(昭和50年卒)、鍋流馬清規氏(昭和52年卒)、宮本智司氏(昭和54年卒)、田中康博氏(平成9年卒)の各氏にははるばる遠方よりお越しいただき、場を大いに盛り上げていただいた。終了間際には、全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、次年度の再会を誓い合いながら盛会のうちに幕を閉じた。

四・その他

今回の九州南部支部総会の開催に先立ち、7年前(平成28年4月)に発生した熊本地震からの復興中である熊本城見学会が企画され、8名が参加した。



酷暑の中、熊本城復興状況の見学

完全復興にはまだまだ数十年はかかると思われるガイドから説明を受け、崩れたままの石垣をため息交じりに眺めていた参加者たちも、復興したばかりの天守閣に登ったときには、一歩一歩進みつつある復興を実感したようだった。

九州南部支部 事務局

丸野香代子(昭和55年卒)

京都大学経済学部同窓会九州南部支部 令和4年度 会計報告書

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
九州南部支部総会収入	0	支部総会経費	0
支部活動補助金(本部より)	0	宿泊交通費	45,720
預金利息	2	事務費	0
(小計(当年度収入額))	2	(小計(当年度支出額))	45,720
前年度繰越金	359,229	剰余金(次年度繰越金)	313,511
合計	359,231	合計	359,231

種類	預入先	金額(円)	摘要
普通預金	肥後銀行東支店	313,511	
合計		313,511	

上記について監査の結果相違ありません。
令和5年5月20日

会計監事 今別府 忍